

# 南風 2023

あしたは もっとたかく  
～ 笑顔と本でいっぱいの学校 ～

2023南中学校通信

号外

令和5年9月25日

校長 齋藤 孝太郎

## 全国学力・学習状況調査からみえてきたもの

今年度4月、全国学力・学習状況調査として中学3年生を対象に「教科（国語・数学・英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」が実施されました。県内の平均正答率は、数学は全国平均を上回りましたが、国語と英語の2教科については全国平均を下回りました。さて、その集計結果からみられる「本校生徒の特徴」について以下のように報告します。個々の学習状況やそれぞれの教科・領域の理解度についてご確認いただき、今後の学習や生活に活かしてください。学校では、全国学力・学習状況調査の結果等も活用し、各教科において育成する資質・能力を身に付けることができるよう授業改善をすすめていきます。

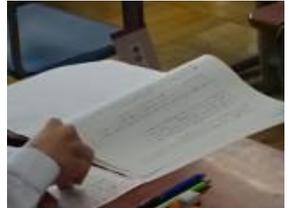
### (1) 本校の平均正解率

国語 全国平均正答率と比較し「やや上回る」という結果になりました。  
数学 全国平均正答率と比較し「同 等」という結果になりました。  
英語 全国平均正答率と比較し「やや下回る」という結果になりました。



### (2) 「教科に関する調査」から見られる本校の特徴

- ① 概ね全国の平均正答率と数値は変わらない。
- ② 無回答（解答していない空白状態）率が大変低い。
- ③ 著しく正答率が高い・低い領域はない。



○少人数授業や小グループ活動を活用しながら、生徒一人ひとりが思考し問題解決を図る場面を設定した授業を重視していることが、応用的な力が問われる問題の正答率の高さにつながっていると考えます。また、無回答（解答していない空白状態）率が、全国平均と比較して大変低い状態となっています。あきらめず最後まで取り組むことができる生徒が多いことは、本校の強みです。3年生には、このことの大切さを自覚し、これから先も持ち続けることができるように働きかけていきます。また、1、2年生には本校の良き伝統として引き継げるようにしていきたいと考えます。

○【国語科：学習状況】知識及び技能に関して「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均を上回りましたが、「我が国の言語文化に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」はやや下回りました。思考力・判断力・表現力に関しては、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと・聞くこと」の3項目全てで全国平均を上回りました。また、記述式の問題に関して全国平均を上回りました。読書活動推進や読解力の向上、各授業で小グループ活動を積極的に活用した結果であると考えます。問題別の集計結果から、全15問中、全国平均正答率を上回った問いは8問あり、「文脈に即して漢字を正しく書く」、「聞き取ったことを基に目的に沿って自分の考えをまとめる」の問いにおいて、特に高い正答率となりました。逆に、下回った問い7問の中で、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む」「古典と比較して読む」の問いの正答率が低く、今後、南スタや家庭学習の時間を中心に、授業の中でも「読解力を育成する指導」と併せて、1、2年生で習った内容を復習する機会を増やしていきたいと考えます。

○【数学科：学習状況】「数と式」の領域で全国平均を下回りましたが、「図形」「関数」「データの活用」の3領域で、全国平均を上回った結果となりました。全15問中、全国平均正答率を上回った問いは5問でしたが、大きく下回った問いはありませんでした。「数と式」に関しては、8割の生徒が基本的な計算の規則が理解できているものの、自然数の意味が理解できていないなど基礎部分の定着にムラがあるようです。「図形」「関数」「データの活用」の3領域に関しては、「事象が成り立つことを構想に基づいて証明することができる」「表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる」「累積度数の意味を理解している」割合が全国平均を上回る結果となりました。グラフや式を用いて数学的に解釈し問題解決の方法を説明したり、三角形の合同条件を基に証明したりすることができる生徒が多い反面、基礎部分の定着に差があるため、ドリルパーク等を活用し復習の機会を多くとり、引き続き、習熟度に応じた丁寧な指導を心がけていきたいと考えます。

○【英語：学習状況】4技能中の3技能（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）についての調査結果が出ました。「読むこと」で全国平均を上回りましたが、「聞くこと」「書くこと」の2技能で全国平均を下回る結果となりました。概ね全国の平均正答率と数値は変わらないものの、全17問中、全国平均を下回った問いが12問あり、うち6問が「情報を正確に聞きとる」「自分が置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞きとる」など「聞くこと」に関する問いでした。「書くこと」に関しては、短答式の問いは全国平均を下回りましたが、記述式の問いに関しては全国平均を上回りました。「読むこと」に関しては、「文と文との関係を正確に読み取る」、「事実と考えを区別」し「自分が置かれた状況などから判断して必要な情報を読み取る」ことができるが、「情報を正確に読み取る」に関しては全国平均を下回りました。今後、習熟度別少人数授業や小グループ活動を活用しながら、生徒一人ひとりが思考し問題解決を図る場面を設定した授業を継続していきたいと考えます。

※英語「話すこと」については、環境保護に関する動画を視聴して自分の考えを英語で話す設問など全5問が出題され、文科省は全体から約500校を抽出して成績を集計し、推計値として扱いました。

### （3）「生徒質問紙」から見られる本校の特徴

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」を合わせて、全国平均より高い項目は、全46項目中38項目あります。これは、全体の約83%に当たります。

※値が「高い」項目（◎：非常に高い、○：高い）

◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

◎人の役に立つ人間になりたいと思う。

◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

◎先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる。

◎学校の部活動に参加している。

◎道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

○学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。

○学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。

○毎日、同じくらいの時間に起きている。 ○朝食を毎日食べている。

○人が困っているときは、進んで助けたいと思う。

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 ○友達関係に満足している。

○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。 ○学校に行くのは楽しい。

※値が「低い」項目（▲：低い、●：非常に低い）

▲昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書室や地域の図書館に行く。

▲学校の授業以外に、PC・タブレットなどの機器を勉強のために使っている。

●新聞を読んでいる。

※全国平均との比較で、値が「高い」項目（◎：非常に高い、○：高い）

◎1、2年の授業で、コンピュータなどのICT機器を使用した。

◎今住んでいる地域の行事に参加している。

◎地域や社会をよくするために何かしてみたい。

◎学校の部活動に参加している。（活動している生徒の割合、日数、時間等）

◎自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。

○日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

○学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

※全国平均との比較で、値が「低い」項目（▲：やや低い、●：低い）

▲普段（月曜日～金曜日）、学校の授業以外に勉強をしている時間。

▲土曜日や日曜日など学校が休みの日に、勉強をしている時間。

●（特に低い項目は、ありませんでした。）



「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」「人の役に立ちたい」という考えを持ち、生徒相互の関係性も良好で「学校は楽しい」と感じている生徒が多くいます。生活面に関しては、「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時間に起きている」と回答した生徒が多く、基本的な生活習慣の確立に向けて、ご家庭の協力のおかげだと感じています。また、「地域の行事に参加」し、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思っている生徒が多くいます。今後も、地域と共に教育を推進し、生徒一人ひとりの個性を認め、困りごとや不安に寄り添える教師集団であり、生徒一人ひとりを大切にする教育を大切にします。学校での生活が日常の生活につながり、そして、家庭や地域での経験が学校生活に活かせるよう、学校・家庭・地域の連携がより重要になってきます。今後もよろしくお願いいたします。